

## 目 次

〔 〕内は執筆者

<b>第1章 原虫類の形態観察</b>	〔 筥井宏実 〕 …… 1
1. 代表的な虫種の形態観察	1
1) ヒストモナス症	1
2) コクシジウム症	3
3) トキソプラズマ症	5
4) サルコシスチス症	6
5) 鶏ロイコチトゾーン症	8
6) 住血原虫症	10
(1) <i>Trypanosoma theileri</i>	10
(2) <i>Babesia ovata</i>	11
(3) <i>Theileria orientalis</i>	11
<b>第2章 蠕虫類の形態観察（その1）</b>	〔 林 慶 〕 …… 17
1. 寄生性扁形動物（吸虫類・条虫類）の採集と標本作製	17
1) 採 集	17
(1) 吸虫類の採集	17
(2) 条虫類の採集	18
2) 圧 扁	18
3) 固 定	18
(1) ブアン固定液	19
4) 染色・脱色	19
(1) ハイデンハイイン鉄ヘマトキシリソ染色液	19
(2) マイヤー強ミヨウバンカーミン染色液	19
(3) 内田ヘマトキシリソ・カーミン混合染色液	19
5) 脱水・透化・封入	20
2. 吸虫類の観察	20
1) 吸虫類の成虫の一般的な構造	20
(1) 外形と吸盤	20
(2) 消化系および排泄系	20
(3) 生殖系	20
2) 代表的な吸虫の成虫の観察	22
(1) 日本産肝蛭（単為生殖型肝蛭）	22
(2) 槍形吸虫	24
3) 吸虫類の幼虫の発育観察	25
(1) 虫卵の発育とミラシジウムの孵化	25
(2) ミラシジウムの孵化と感染	26

(3) スポロシスト, レジア, セルカリアの観察	27
(4) セルカリアの游出とメタセルカリアの観察	28
4) 野外の巻貝からセルカリアの採集	29
<b>第3章 蠕虫類の形態観察（その2）</b>	[柳田哲矢] 33
1. 条虫類（成虫）の形態観察	33
1) 一般的な構造	33
2) 代表的な虫種の成虫の形態観察	35
(1) マンソン裂頭条虫	35
(2) 多包条虫	36
(3) 拡張条虫	36
(4) 瓜実条虫	38
3) 代表的な囊虫（条虫科）の形態観察	39
(1) 多包虫と単包虫	40
<b>第4章 蠕虫類の形態観察（その3）</b>	[常盤俊大] 47
1. 線虫類の採取と標本作製	47
1) 採 取	47
2) 固 定	47
(1) ホルマリン液	47
(2) TAF液	48
(3) アルコール	48
(4) AFA液	48
3) 透 化	48
(1) ラクトフェノール液	48
4) 標本作製	48
2. 線虫類の形態観察	48
1) 線虫類の一般形態	48
(1) 外 貌	48
(2) 体壁の構造	49
(3) 体内の構造	51
2) 線虫の形態観察	52
(1) アニサキス類の形態観察	52
(2) 回虫類の形態観察	55
<b>第5章 外部寄生虫の形態観察</b>	[浅川満彦, 佐々木 均] 61
1. 採 集	61
1) マダニ (tick)	61
2) その他のダニ (mite)	62
3) シラミ・ハジラミなどの動物の体表に寄生する昆虫の幼・成虫と卵	62

4) ノミの成虫と卵・幼虫・蛹	62
5) カ・ヌカカ・ブユ・アブなどの動物へ飛来する昆虫の成虫	62
6) カの幼虫・蛹・卵	63
7) ヌカカの幼虫・蛹	64
8) ブユの幼虫・蛹	64
9) アブの幼虫・蛹と卵	65
10) ハエの成虫	65
11) ハエの幼虫・蛹	66
<b>2. 標本の保存と作製</b>	<b>67</b>
1) 一時封入標本	69
2) 永久プレパラート標本	69
<b>3. 形態観察</b>	<b>69</b>
1) ダニ類	69
2) シラミ・ハジラミ・ノミ	69
3) 双翅目幼虫	72
4) 双翅目成虫	72
<b>第6章 寄生虫病の検査</b>	<b>[平 健介] 81</b>
<b>1. はじめに</b>	<b>81</b>
1) 情報把握	81
2) 寄生虫の検索	82
3) 寄生虫の同定	82
<b>2. 粪便検査</b>	<b>82</b>
1) 定性検査と定量検査—検出虫卵数の意義	84
2) 粪便検体の採取と保存期間	84
3) 粪便の肉眼検査	84
(1) 虫体や条虫の片節	85
(2) 粪便の性状	86
(3) 粪の固さを客観的に判別する方法	86
4) 各種糞便検査法	88
(1) 直接塗抹法	88
(2) セロファン厚層塗抹法	89
(3) ストール法（単純希釈法の応用）	90
(4) 単純浮遊法	91
(5) 遠心浮遊法	92
(6) 単純マックマスター法	93
(7) 濃縮マックマスター法	94
(8) 簡易Oリング法	96

(9) O リング法（濃縮）	98
(10) デニス法（単純沈殿法の応用）	99
(11) ホルマリン・エーテル法（MGL 法）、ホルマリン・酢酸エチル法	100
(12) AMS III 法（army medical service III technique）	101
(13) 簡易肝蛭卵検査法（渡辺式沈殿法）	102
(14) 時計皿法	103
(15) 230 メッシュ金網残渣回収法（原茂法）	104
(16) ビーズ法（ガラスビーズを利用した吸虫卵の定量的検査法）	105
5) 消化器系寄生虫の総合的検査を目的とした糞便材料の作製と検査法の組合せ（牛の例）	106
6) 糞便検査でみられる寄生虫卵、原虫のオーシスト等	107
7) 糞便内幼虫検査法	115
(1) ベールマン法	115
(2) 遠心管内遊出法	116
(3) ポリ袋内遊出法	117
8) 糞便内虫卵培養法	118
(1) 紙培養法・かわら培養法	120
(2) 普通寒天平板培地法	121
(3) びん培養法	122
(4) コットン・ポリ袋培養法	123
(5) 孵化法（住血吸虫ミラシジウム孵化法）	124
3. 血液検査法	125
1) ミクロフィラリア検査法	125
(1) 生鮮血液直接鏡検	125
(2) 薄層塗抹染色鏡検法	126
(3) 濃厚塗抹染色鏡検法	127
(4) ヘマトクリット管遠心集虫法	128
(5) ノット集虫法変法	129
(6) アセトン集虫法	130
(7) フィルター集虫法変法	131
4. その他の虫卵検査・検出法	132
1) 尿中の虫卵検査	132
2) 畜舎の土壤や公園の砂場などからの虫卵の検出	133
3) 牧草からの線虫幼虫の検出	134
4) セロハンテープ法（肛門周囲の虫卵検査法）	135
5. 死後検査における寄生虫検出法	136
1) 特別な処理を要しないで剖検により検出される蠕虫類	136
(1) 市販の海産魚にみられる蠕虫	136

(2) 食肉検査でみられる蠕虫	136
(3) 身近な野生生物にみられる蠕虫	136
2) 剖検で検出する際に処理が必要な蠕虫類	136
(1) 胃腸内腔からの蠕虫類の検出法（沈殿法）	137
(2) 肝臓や肺からの蠕虫類の検出（遊出法と沈殿法の組合せ）	138
(3) 筋肉や肝臓実質に寄生する蠕虫類の検査（圧扁法）	139
(4) 筋肉や臓器実質に寄生する蠕虫類の検査（消化法）	140
<b>付録 1 吸虫の中間宿主となる巻貝の同定法</b>	〔林 慶〕 145
1. 吸虫類の中間宿主となる巻貝類の形態観察	145
1) 巷貝の分類と同定法	145
2) 巷貝の一般形態と生態	145
(1) 巷貝の解剖法	145
(2) ヒメモノアラガイの生態と形態	151
(3) ウスカワマイマイの生態と形態	152
<b>付録 2 海産魚の検査</b>	〔浅川満彦〕 153
索引	157